

Abstract

AROMA RESEARCH No.69(Vol.18 No.1)

緑茶の香りの医療現場での活用

池ヶ谷 篤

<要旨>緑茶は日本の文化に深く根ざしており、その味や香りは私たちにやすらぎを与えてくれる。静岡がんセンター及びファルマバレーセンターは緑茶から水蒸気蒸留によって抽出した香気を活用し、がんにより発生する病臭に苦しむ患者が抱えるストレスを取り除き、QOL (Quality Of Life) を向上させる取り組みを行っている。

緑茶の香気は多くの成分による微妙なバランスで成り立っているが、我々は蒸留液の原料として最適な茶葉を選定し、蒸留法についても検討した。

また、緑茶蒸留液をがんの病臭原因物質と混合したところ、一部の成分が有意に減少しており、緑茶蒸留液は芳香で病臭をマスクングするだけでなく、低減させる効果があることが明らかとなった。

<キーワード>緑茶、水蒸気蒸留、緑茶蒸留液、がんのにおい、消臭